

九条の会・石川ネット

ニュースレター No.2 2005.4.25発行

連絡先 金沢市大手町9-29 社会法律センター気付 TEL076-231-2110 <http://www.9jo-ishikawa.net/>

各地でできたよ 九条の会・ネット 「やすらぎホーム 9条の会」のとりくみ

「9条の会・石川ネット」が昨年末に発足した頃、やすらぎホームの職員で構成している社会保障委員会で、入居者・利用者さんから聞き取りした声を基にした「戦争はもう嫌!」という小冊子を発刊しました。そして2月24日に「9条の会」発足の集いが64名の参加で行われました。

若手職員のサクソと三線やピアノ伴奏で「青い空」「花」の合唱でオープニングし、9条の会・石川ネットのよびかけ人の漆崎英之さんの講演をお聞きしました。参加者からも体験談が語られ、入居者の方も「二度と戦争は嫌、平和のためにみなさんががんばりましょう」と涙ながらに訴えられました。

現在、ホーム入口にはハトに願いを書いたパネルが展示され、4月から月一回の「ミニ平和トーク」も始まり、平和グッズの検討も進んでいます。(やすらぎホーム9条の会・事務局)



九条の会・金大ネット設立総会

4月13日に、石川ネット運営委員会の問題提起を踏まえつつ、教職員(退職者を含む)・院生・学生が一体となって、上記の会を立ち上げました。短期間の取り組みでしたが、呼びかけ人・賛

同人あわせて164名の会となりました。アピール文では、九条の会・金大ネットが、「石川県レベル、全国レベルの『改憲』阻止運動を最低辺で支える基礎的な運動体になること」をめざすとしています。

また4月20日の昼休みには、75名の参加をえて、憲法学を専門とする畑安次先生を講師に迎え、「すでに始まっている新たな『戦前』 - - 憲法・教育基本法の『改正』 - - 」と題し、九条の会・金大ネット設立記念講演会を開催しました。更に5月3日には、午後1時から金沢大学サテライト・プラザで飯



田克平（元がん研教員） 五十嵐正博（元法学部教員） 問谷元子（経済学研究科院生） 西田美昭（経済学部教員） 他が話題提供者となって憲法討論集会を開きます。

今後は、大学らしい「九条の会」をどう創っていくかが一つの課題となってくると考えています。（石川ネットよびかけ人・西田美昭）

「加賀・江沼九条の会」発足

戦争の放棄を定めた憲法九条を守る運動に取り組む「加賀・江沼九条の会」が二月二十日発足し、加賀市市民会館で設立総会が開かれた。

市民ら約四十人の賛同を得て発足。代表に同市直下町の農業、西山誠一さんが就任した。総会では憲法九条を守りたいとする賛同者の署名集めや、講演会で運動を広くアピールすることなどの活動内容を決め、運動方針として集団的自衛権の行使を認めないとの立場が強調された。



護憲をめぐる市民の動きでは、昨年六月に劇作家の井上ひさしさんや哲学者の梅原猛さん、作家の大江健三郎さんら九人の文化人が「九条の会」を発足。米国のイラク攻撃を非難し、自衛隊のイラク派遣に反対している。また全国で同会に賛同する市民がグループを立ち上げて活動するなど運動が広がりつつある。県内では昨年十二月に弁護士、学者らが呼び掛け人となって、「九条の会・石川ネット」が発足した。

加賀・江沼九条の会は、三月二十一日午後一時半から、市民会館で集会とミニコンサートを開く予定。署名希望者や会への参加者も募っている。問い合わせは西山さん。

（2月22日付け 中日新聞より）

今 想う

日本国憲法9条は、世界に誇れる私達の財産です。

私は、1991年から毎年アメリカの弁護士団体の大会に出席していますが、今では殆どの方が憲法9条のことを知っていて、その志の高さに感服しれくれます。

イラク占領には15万人の兵士が動員されていますが、彼らの多くがこの戦争の無意味さを知って帰国を希望しています。ペンタゴンでさえ、イラク戦争が開始されてから、5500人のアメリカ兵が任務放棄をしたことを認めざるをえません。平和を望むアメリカ人にとっては憲法9条は、希望の灯であると彼らは私に語ってくれます。

この憲法9条を守り抜くために、心を一つにしようではありませんか。

弁護士 菅野昭夫（石川ネットよびかけ人）

憲法9条フェスティバル in kanazawa
5月3日 午後3時から 中央公園

澤地久枝さんと憲法を語る会
5月15日(日) 13時30分から
石川県女性センター 大ホール

「澤地久枝さんの講演を心まちにしています」

□

我が内灘町では、桜の開花と同じ頃、浜大根の花が可憐に咲き、続いてあかしあの花が咲きます。その頃になると私は五十年前の内灘砂丘を思い出します。

米軍の試射による砲弾の炸裂、その響きであかしあの花房が「カンザシ」のように揺れたいたこと、そして鳥肌がたつような恐ろしさが今も脳裏から離れません。

内灘闘争50周年記念講演の澤地先生のお話で改めて、私の記憶に「平和の大切さ」を教えてくださいました。戦争反対、平和擁護のために、日本国憲法第九条を死守しなければなりません。共に頑張りたいと思っています。

内灘町 杉村 竹子

衆院憲法調査会の報告受け、ネットが抗議声明

左は、4月16日付け
毎日新聞より
「声明」は別面に。

次回運営委員会
5月25日(水)
18時半より
県生涯学習セン
ター